

共同研究講座・寄付講座等名： 生殖技術フロンティア講座

研究代表者名： 河村 和弘

開設の目的・概要 等		<p>実験動物としての霊長類(サル:Macaca属)は、生殖医学研究のみならず様々な研究領域で、ヒトへの臨床応用を見据えた研究における非臨床 POC 取得に重要な生物であり、需要が高まっている。しかし、サルの繁殖能は低く、その需要を十分に満たす供給はできず、大変貴重かつ高価となっている。一方、晩婚化の影響を受け、ヒトの生殖能力は低下しており、産みたいのに産めない患者の増加は、少子高齢化の本邦において喫緊の課題である。現在のヒトの体外受精(IVF)をはじめとする生殖補助医療の成功率は、IVFでも約30%の妊娠率であり、高齢患者では1%以下の妊娠率であるため、さらなる改善が切望されている。こうした状況下、本共同研究講座は、早期卵巣不全の治療におけるヒトの生殖能向上を目指した研究開発を継続している河村和弘を研究代表者とし、CRO(Contract Research Organization:医薬品開発業務受託機関)として自社グループ内霊長類の繁殖・供給体制が唯一国内で構築されている株式会社新日本科学(SNBL)と共同で、サルの繁殖能向上と安定供給を目指す。これにより、ヒトの生殖医療に関する新たな医療機器、診断方法、治療方法の開発における非臨床POCの取得に貢献することを目標とする。</p>				
区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		Kuroda K, Matsumoto A, Takashi Horikawa T, Takamizawa S, Asako Ochiai A, Kawamura K, Koji Nakagawa K, Sugiyama R	Transcriptomic profiling analysis of human endometrial stromal cells treated with autologous platelet-rich plasma	Reprod Med Biol. 2023 Jan 22;22(1):e12498.	
区分	番号		著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文総説	1		Kazuhiro Kawamura, Yorino Sato	Effectiveness of supplement ingredients on infertility treatment in advanced aged women	J Obstet Gynaecol Res, 2023;49(8):2015-2022	
英文総説	2		Vo KCT, Sato Y, Kawamura K	Improvement of oocyte quality through the SIRT signaling pathway	Reprod Med Biol. 2023 Feb 23;22(1):e12510.	
区分	番号		発表者名	発表タイトル (題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Kawamura K	Preservation Among Pediatric and Adolescent Cancer Patients - Building a comprehensive pediatric oncofertility program	"Fertiprotect 2023" the 10th Annual Conference of the Fertility Preservation Society (India) 2023年9月30日	
国際学会発表	2		Kawamura K	Current and Future Perspectives fro improving ovarian tissue cryopreservation transplantation outcomes for Cancer patients	"Fertiprotect 2023" the 10th Annual Conference of the Fertility Preservation Society (India) 2023年9月30日	
国際学会発表	3		Kawamura K	Ovarian rejuvenation and new techniques for Fertility treatments of ovarian dysfunction	XXXVI International Congress with a course of endoscopy "New Technologies for Diagnosis and Treatment of Gynecologic Diseases" 2023年6月7日	
区分	番号		著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文症例報告	1		河村 和弘	子宮の湯の謎-不妊治療への有効性検証に関する研究	日本健康開発雑誌,2023年6月 44 81-86	

区分	番号	発表者名	発表タイトル（題目・演題・課題等）	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	河村 和弘	食と生殖機能：レスベラトロール類による卵子の質の回復	第28回生殖内分泌学会学術集会,滋賀県, 2023年11月19日	
国内学会発表	2	田中佑佳, 辰巳嵩征, 鳴海覚志, 深見真紀, 石塚文平, 河村和弘	autoimmune regulator (AIRE) 遺伝子変異における卵巣機能の多様性	第28回生殖内分泌学会学術集会,滋賀県,2023年11月18日	
国内学会発表	3	村上圭祐, 北出真理, 岡田由貴子, 川崎優, 落合阿沙子, 小林睦, 武内詩織, 柳原康穂, 河村和弘, 板倉敦夫	子宮筋腫合併不妊女性に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術の年齢による手術成績・術後妊娠率の検討	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県, 2023年11月10日	
国内学会発表	4	柳原康穂, 武内詩織, 小林睦, 川崎優, 落合阿沙子, 岡田由貴子, 村上圭祐, 河村和弘, 北出真理, 板倉敦夫	多嚢胞性卵巣症候群に対するlaparoscopic ovarian drilling (LOD) の治療効果と抗ミュラー管ホルモン (AMH) 値の関連性	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県,2023年11月10日	
国内学会発表	5	武内詩織, 北出真理, 柳原康穂, 小林睦, 落合阿沙子, 川崎優, 村上圭祐, 岡田由貴子, 河村和弘, 板倉敦夫	不妊治療中に腸管子宮内膜症が増悪し腸管切除術を要した3例の検討	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県,2023年11月10日	
国内学会発表	6	田中佑佳, 辰巳嵩征, 鳴海覚志, 深見真紀, 石塚文平, 河村和弘	autoimmune regulator (AIRE) 遺伝子変異における卵巣機能の多様性	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県,2023年11月10日	
国内学会発表	7	岡田由貴子, 柳原康穂, 武内詩織, 小林睦, 落合阿沙子, 川崎優, 村上圭祐, 尾崎理恵, 河村和弘, 北出真理, 板倉敦夫	生殖補助医療後に発症した骨盤内感染の傾向と対策—当院における管理指針—	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県,2023年11月10日	
国内学会発表	8	小林睦, 小林美里, 川越雄太, 佐藤可乃, Keiko Shioda, Hikari Hagihara, Junko Odajima, Maria Ericsson, 北出真理, 板倉敦夫, Toshi Shioda, 河村和弘	ヒト始原生殖細胞は内在性レトロウイルスKを発現する	第68回日本生殖医学会学術講演会・総会,石川県,2023年11月10日	
国内学会発表	9	小林仁, 長谷川昇司, 森重大作, 渥美孝雄, 横尾正樹, 森本素子, 池内真志, 河村和弘	新規穿刺デバイスによるウシの卵胞活性化と卵胞数および性ホルモン濃度の推移	第7回日本胚移植技術研究会群馬県大会 2023年10月26日 日本胚移植技術研究会	
国内学会発表	10	井原基公, 木村真智子, 古谷正敬, 田中佑佳, 石塚清子, 吉井明日香, 河村和弘, 石塚文平	不妊治療により妊娠、分娩に至った全身性強皮症合併早発卵巣不全の一例	第41回日本受精着床学会総会・学術講演会,宮城県,2023年7月27日	
国内学会発表	11	小林 睦, 小林 美里, 川越雄太, 佐藤可野, Hagihara Hikari, Odajima Junko, Shioda Keiko, Ericsson Maria, 北出 真理, 板倉 敦夫, Shioda Toshi, 河村 和弘	ヒト配偶子における内在性レトロウイルス発現様式の解明	第64回日本卵子学会学術集会,茨城県,2023年5月20日	
国内学会発表	12	小林睦, 河村和弘, 北出真理, 板倉敦夫	生殖細胞系列へ分化可能なヒト始原生殖細胞様細胞の長期安定培養法の開発	第75回日本産科婦人科学会学術講演会,東京都,2023年5月14日	
区分	番号	講演者名	講演タイトル	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	Kawamura K	Clinical Interactive session - what you need to know about Fertility Preservation - Physicians Practice Points	"FertiProtect 2023" the 10th Annual Conference of the Fertility Preservation Society (India) 2023年10月1日	
特別講演・招待講演	2	河村和弘	不妊領域における超音波画像診断	第20回東京産婦人科臨床フォーラム,オンデマンド開催,2023年9月14日	
特別講演・招待講演	3	河村和弘	メカバイオロジーによる卵胞発育誘導法の開発	第41回日本受精着床学会総会・学術講演会,宮城県,2023年7月27日	
特別講演・招待講演	4	河村 和弘	卵巣機能不全の研究update: from bench to bedside	第64回日本卵子学会学術集会,茨城県,2023年5月20日	

特別講演・招待講演	5	Kawamura K	Infertility treatment in patients with reduced ovarian reserve using in vitro follicle activation.	I Congress of the Association of Reproductive Medicine of Uzbekistan "REPRODUCTIVE TECHNOLOGIES – THE WAY TO A NEW LIFE" 2023年4月29日	
特別講演・招待講演	6	河村和弘	卵巣の若返りと新たな不妊治療	秋田大学医学部国際交流委員会 秋田大学医学部産婦人科学講座 特別講演会 特別講演Ⅱ 2023年3月17日	
特別講演・招待講演	7	Kawagoe Y, Kawamura K	Anti-aging approaches focusing on senescence-associated secretory phenotype (SASP) induced oocyte/embryo aging	Global Excellence in Reproductive Medicine 2023 2023年2月25日	
特別講演・招待講演	8	Kawamura K	Ovarian Rejuvenation and New Techniques for Fertility Treatments of POI	Global Excellence in Reproductive Medicine 2023 2023年2月25日	
特別講演・招待講演	9	Tanaka Y, Kawamura K	Laparoscopic strategies for ovarian tissue in vitro activation (IVA)	Global Excellence in Reproductive Medicine 2023 2023年2月24日	
特別講演・招待講演	10	Kawamura K	A pharmaceutical approach to maintain ovarian reserve	the XVII International Congress on Reproductive Medicine 2023年1月19日	
区分	番号	発明者名	発明の名称	出願番号	国際共同
知的財産権の出願・取得等	1	Kazuhiro Kawamura	AGENT FOR PREVENTING OR AMELIORATING REDUCTION IN OVARIAN FUNCTION	特許EP 3517107 B1	
知的財産権の出願・取得等	2	Kazuhiro Kawamura	EGG, FERTILIZED EGG, OR EMBRYO QUALITY IMPROVING AGENT	U.S. Application No. 16/336,689	